

# ROHMのOnline Design Tool ROHM DC/DC Designer ユーザーズガイド

### 目次

1.ROHM DC/DC Designer とは?

- 1.1 概要
- 1.2 対象製品
- 1.3 環境構築
- 1.4 注意事項
- 1.5 お問い合わせ先

2.アクセス方法

- 2.1 ロームのホームページ(<u>http://www.rohm.co.jp/web/japan/</u>)の TOP ページから
- 2.2 ロームのホームページの対象機種個別ページから

#### 3.使用方法

- 3.1 ROHM DC/DC Designer の起動
- 3.2 ユーザインターフェース概要
  - 3.2.1 Setting Parameter 画面
  - 3.2.2 Steady State 画面
  - 3.2.3 Loop Response 画面
  - 3.2.4 Load Transient 画面
  - 3.2.5 Efficiency 画面
  - 3.2.6 Download Design 画面
- 3.3 デザインステップ
  - 3.3.1 STEP1:電源仕様入力
  - 3.3.2 STEP2:外付け部品定数入力
  - 3.3.3 STEP3:検証条件の設定
  - 3.3.4 STEP4:検証
  - 3.3.5 STEP5:特性結果"Steady State"の確認
  - 3.3.6 STEP5:特性結果"Loop Response"の確認
  - 3.3.7 STEP5:特性結果"Load Transient"の確認
  - 3.3.8 STEP5:特性結果"Efficiency"の確認
  - 3.3.9 STEP6:Design Report 出力
- 3.4 その他の機能
- 3.4.1 Reset 機能
- 3.4.2 マルチ出力機種
- 4.トラブルシューティング
- 5.免責事項について
- 6.補足事項
- 7.改定履歴

### 1.ROHM DC/DC Designer とは?

#### 1.1 概要

オンラインデザインツール「ROHM DC/DC Designer」はスイッチングレギュレータ IC を選定する際に、実部品を組んで 実際に部品評価する前に Web 上で回路を簡単に組み、ループ安定性や過渡応答特性、効率特性といった回路の基本特性を 簡単 3STEP で確認することができます。

また、外付け部品の定数や入力信号を自由に変更できるため、IC 選定・部品選定の時間を大幅に短縮できます。



#### 1.2 対象製品

- ・1chip FET 内蔵タイプスイッチングレギュレータ
- ・大電流 FET 外付けコントローラタイプスイッチングレギュレータ
- ・上記以外にも新シリーズ、新製品を追加していきます。

#### 1.3 環境構築

ROHM DC/DC Designer を動作させるには、以下の環境が必要になります。

- ・Adobe Reader<sup>®</sup>(PDF ファイルを開くソフト)
- Microsoft® Silverlight®
- \*Microsoft Silverlight 対応ブラウザについて

本ツールは、Microsoft Silverlight 未対応のブラウザ上では動作させることができません。

下記 URL "System Requirements"をご確認いただき、対応可能なブラウザ上で本ツールを起動してください。

(https://www.microsoft.com/getsilverlight/get-started/install/default.aspx?reason=unsupportedbrowser& helpmsg=Chrom eVersionDoesNotSupportPlugins&v=4.0.50826.0#")

"Google Chrome<sup>™</sup>"の最新バージョンなどでは動作できませんのでご注意ください。 **本ツールをご使用いただくブラウザ環境には、"Internet Explorer<sup>®</sup>"を推奨します。** 

商標:

- Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または 登録商標です。
- Microsoft, Internet Explorerは、米国 Microsoft Corporationの米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- Google Chrome<sup>™</sup>は、Google Inc.の登録商標です。

#### 1.4 注意事項

■ROHM DC/DC Designer をご使用になる前に、必ず免責事項をご確認ください。
■ROHM DC/DC Designer の結果はロームの評価ボードにおける実験結果を基にしておりますが、実際にお客様が使用され
る基板、実装条件にて同様の結果が得られる事を保証するものではありません。
■部品の特性にはご注意ください。
・セラミックコンデンサ :DC バイアス特性、周波数特性、温度特性
・電解コンデンサ :周波数特性、温度特性
・インダクター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(AC 抵抗成分は本 Tool に含まれません。)
■ROHM DC/DC Designer の仕様はお客様に予告なく変更される場合があります。

1.5 お問い合わせ先: <u>http://www.rohm.co.jp/web/japan/contactus/</u>

### 2.アクセス方法

ROHM DC/DC Designer にアクセスするには、以下の3つの方法があります。

- ・ロームのホームページ(<u>http://www.rohm.co.jp/web/japan/</u>)の TOP ページから (2.1)
- ・ロームのホームページの対象機種個別ページから(2.2)
- 2.1 ロームのホームページ(<u>http://www.rohm.co.jp/web/japan/</u>)の TOP ページから ■ホームページの TOP ページ



■スイッチングレギュレータのパラメトッリクサーチページ (http://www.rohm.co.jp/web/japan/search/parametric/-/search/Switching%20Regulators/)

ROHM DC/DC Designer 対象製品には、機種欄に"D ボタン"(ROHM DC/DC Designer ボタン)が表示されています。 各機種の"D ボタン"を選択することで、個別機種に対応した ROHM DC/DC Designer が起動します。



### 2.2 ロームのホームページの対象機種個別ページから

ROHM DC/DC Designer 対象製品の機種個別ページには、"ROHM DC/DC Designer ボタン"が表示されています。 "ROHM DC/DC Designer ボタン"により、個別機種に対応した ROHM DC/DC Designer が起動します。

### 3.使用方法

#### 3.1 ROHM DC/DC Designer の起動

ROHM DC/DC Designer を起動すると、新しいウインドウが開き、基本アプリケーション条件でのシミュレーション結果が 表示されます。初期画面では推奨回路が表示され、Function ボタンにより各特性データの表示切り替えが可能です。



#### ユーザインターフェース概要 3.2

ROHM DC/DC Designer における画面仕様について説明します。

3.2.1 Setting Parameter 画面

Function ボタンより、"Setting Parameter"を選択してください。(起動時の初期出力画面) Setting Parameter 画面では、電源仕様の入力、外付け部品定数の設定、過渡応答特性の設定が可能です。 また、基本アプリケーション回路図も表示されます。

設定可能な外付け部品は、基本アプリケーション回路図上で青く表記されています。



#### 3.2.2 Steady State 画面

Function ボタンより、"Steady State"を選択してください。 Steady State 画面では、入力された電源仕様、外付け部品定数条件における定常状態の"スイッチング波形"、"インダクタ 電流波形"、"出力リップル波形"、"入力リップル波形"を表示します。 また、"Duty Cycle"、"インダクタ電流ピーク値"、"出力リップル電圧"、"入力リップル電圧"を確認することができます。 \*連続モード(CCM)時の動作にのみ対応しています。



#### 3.2.3 Loop Response 画面

Function ボタンより、"Loop Response"を選択してください。

Loop Response 画面では、入力された電源仕様・外付け部品定数条件におけるループ特性を表示します。 "位相マージン"、"クロスオーバー周波数"も表示されるため、フィードバックループの安定性を確認することができます。 \*連続モード(CCM)時の動作にのみ対応しています。



#### 3.2.4 Load Transient 画面

Function ボタンより、"Load Transient"を選択してください。 Load Transient 画面では、入力された電源仕様・外付け部品定数条件における過渡応答特性を表示します。 過渡応答の負荷条件設定は、過渡応答特性設定 I/F により設定可能です。 \*連続モード(CCM)時の動作にのみ対応しています。



#### 3.2.5 Efficiency 画面

Function ボタンより、"Efficiency"を選択してください。 Efficiency 画面では、入力された電源仕様・外付け部品定数条件における効率特性を表示します。 軽負荷時に PFM 制御となる機種においては、"PWM 制御時"と"PFM 制御時"の効率特性が表示されます。



#### 3.2.6 Download Design 画面

Function ボタンより、"Download Design"を選択してください。各出力画面結果が保存され Design Report ファイル名が 表示されます。ファイル名が表示された後、"Download"ボタンをクリックすると Design Report(PDF ファイル)が新しい ウインドウで表示されダウンロードできます。



#### ■Design Report 出力例(Ex.BD9A300MUV)



### 3.3 デザインステップ

ROHM DC/DC Designer によるスイッチングレギュレータのデザイン手順(設計手順)について説明します。 途中を省略することは可能ですが、デザインの基本的な流れは以下の通りです。

РОНМ	STEP1	STEP2 STEP3		STEP4	STEP5	STEP6
ROHM DC/DC Designer デザイン手順	電源仕様 入力	外付け部品 定数入力	外付け部品 定数入力 設定		特性結果の 確認	Design Report 出力
		基本的に実行	iする		こ応じて実行す	F る

#### 3.3.1 STEP1:電源仕様入力

電源仕様(入力電圧、出力電圧、出力電流などの動作条件)を User Design に入力します。 スイッチング周波数が可変の機種は、スイッチング周波数の設定も行います。



#### 3.3.2 STEP2:外付け部品定数入力

抵抗、コンデンサ、インダクタなどの外付け部品の定数を設定します。 設定可能な外付け部品は、基本アプリケーション回路図上で青く表記されています。 部品の特性にはご注意ください。 ・セラミックコンデンサ : DC バイアス特性、周波数特性、温度特性 ・電解コンデンサ : 周波数特性、温度特性 ・インダクタ : 直流重畳特性(AC 抵抗成分は本 Tool に含まれません。) \*部品定数の決定時は、必ず Datasheet をご確認ください。

#### ■設定可能な部品の各種寄生成分

 -DCR
 : インダクタの直流抵抗

 -ESRci
 : 入力コンデンサの等価直列抵抗

 -ESRco
 : 出力コンデンサの等価直列抵抗



#### ■帰還抵抗変更時のエラーメッセージ

帰還抵抗(R<sub>FB11</sub>,R<sub>FB12</sub>,R<sub>FB21</sub>,R<sub>FB22</sub>)変更時、出力電圧の設定値(Designed Output Voltage)が設定範囲外となる場合 は"Simulate"ボタンが実行できなくなります。出力電圧の設定値が範囲内となる帰還抵抗値に設定してください。



#### 3.3.3 STEP3:検証条件の設定

過渡応答特性の検証条件を設定します。設定可能なパラメータは以下となります。





3.3.4 STEP4:検証

"Simulate"ボタンをクリックし、シミュレーションを実行します。



#### 3.3.5 STEP5:特性結果"Steady State"の確認

"Steady State"画面にて、定常状態における"スイッチング波形"、"インダクタ電流波形"、"出力リップル波形"、"入力リッ プル波形"を確認します。

#### Check Point

選定するインダクタの飽和電流が、インダクタ電流ピーク値以上であることを確認します。 (短絡時や過渡状態では、インダクタ電流ピーク値以上の電流が流れる場合があるので、最大スイッチ電流を基に選択す る考え方もあります。)

また、出力リップル電圧や入力リップル電圧の確認もできます。



#### 3.3.6 STEP5:特性結果"Loop Response"の確認

"Loop Response"画面にて、フィードバックループの安定性を確認し、部品定数の初期値を決定します。

\*本ツールでの結果について、部品の特性や基板・実装条件などの要因により実測(FRA 等)の結果と誤差が生じます。 実機にて必ず安定性・応答性をご確認ください。

#### Check Point

位相マージン(ゲイン 1(0dB)時の位相)が 45deg 以上あることを確認します。 フィードバックループの安定性の一つの指標として、位相マージンが 45deg 以上あれば安定した電源であるといわれて います。また、クロスオーバー周波数はスイッチング周波数の 1/10 以下に設定します。

位相マージンが少ない場合には、出力電圧が異常発振する可能性があります。

位相補償定数(RITH,CITH)を調整し、フィードバックループの安定性と過渡応答性が両立するように設定し直します。 (過渡応答特性については、"Load Transient"画面にて確認できます。)



#### 3.3.7 STEP5:特性結果"Load Transient"の確認

"Load Transient"画面にて、過渡応答特性を確認します。 負荷変動の急峻さ(立ち上がり時間、立下り時間)によって、出力電圧の応答性は変化します。 実使用の負荷の変動スピードに応じた検討が必要となります。

ROHM ROI	HM DC/DC	Designer	STEP	<b>2</b> 5		Categ	ory Name: duct Name:	Buck (Step	Down) Sw BID9A3001	itching Regul MUV	ator	Channel 1 Channel 2	
Input Voltage	User Design	Min Ma	、特性約	ま	確認					-,			
Cutout Maltage	5 V	2.7 -	5.5 V	Setting	Paramete	er Steady S	tate Loop	Response L	oad Trans	ient Efficie	ency Do	wnload De	sign
Output Voltage	2 V	0.8 -	3.5 V										
Culturent	3 A	0 -	3 A		me:	RD9A300M	UV						
Switching Frequency	1000 KH	z 1000 - 1	LOOO KHZ		Jorda O	nk -							
Sir	nulate	Reset	: <b>1</b>		NODE O	rity -					A 0 0		~
Application Circuit Pa	rameters				2.032								-
R. FB11	27 kΩ												
R FB12	0 kΩ	Designed		0	2.02 -								
R. FB21	18 kΩ	Output Voltage		2	2.01				_				-
R. FB22	0 kΩ	2 V		ŝ	2								
C FB	0 pF			age	1			r					
L 1	1.5 µH			<b>N</b>	1.99 -								
DCR	10 m(	2		tput	1.98 -				_				_
C out	22 µF			00									
ESR co	5 m(	2			1.964				_	_			
C ITH1	2700 pF				0	1	2 3	4 Tr	5	6 7	8	9	10
C ITH2	0 pF								ne (mace)				
R. ITH	9.1 kΩ				3								_
C IN	10 µF				2.8								-
ESR CI	10 m	2		3	2.6								-
				0 LI O	2.4								-
Load Transient Paran	neters			2	2.2				-				
Initial Current	1 4			erun erun	2								
Pulsed Current	3 A			5	1.8								
Delay Time	3 ms	ec		dh	1.6								
Rise Time	100 us	ec		~									
Fall Time	100 us	ec			1								
Pulse Width	3,9 ms	ec			Ó	i :	3	4	5	6 7	8	9	10
Declard								I im	e (mséc)				

#### 3.3.8 STEP5:特性結果"Efficiency"の確認

"Efficiency"画面にて、効率特性を確認します。

DCRの小さなインダクタ、ESRの小さなコンデンサの選定や順方向電圧が小さい出力ダイオードを選定することで効率が改善することができます。

インダクタの DCR や出力コンデンサの ESR は、フィードバックの安定性にも関わるためループ特性の確認も必要です。



### 3.3.9 STEP6:Design Report 出力

"Download Design"画面にて、デザインした結果を Design Report(PDF ファイル)として出力します。

	HM DC/DO	C Designer	Category Name: Buck (Step-Down) Switching Regulator Channel 1 Product Name: BD9A300MUV Channel 2
Input Voltage Output Voltage Output Current Switching Frequency	User Design 5 V 2 V 3 A 1000 k	Min Max / 2.7 - 5.5 V / 0.8 - 3.5 V A 0 - 3 A Hz 1000 - 1000 kHz	Setting Parameter Steady State Loop Response Load Transient Efficiency Download Design Product Name: BD9A300MUV
511	luiate	Neset	
Application Circuit Par	rameters		
R FB11	27 k	Ω	STEP6 Design Report をダウンロード
R FB12	0 k	Ω Designed	
R FB21	18 K		
C rp	0 0		
Li	1.5		
DCR	1.5 p	n O	BD. UV_5_2_3_160203.pdf
C OUT	22 1	IF	
ESR.co	5 n	nΩ	Download
C ITH1	2700 p	0F	Download
C ITH2	0 p	F	
R ITH	9.1 k	Ω	
C IN	10 µ	IF	
ESR CI	10 n	nΩ	
Load Transient Param	eters		
Initial Current	1 A	4	
Pulsed Current	3 A	4	
Delay Time	3 п	nsec	
Rise Time	100 μ	JSec	
Fall Time	100 µ	JSec	
Pulse Width	3.9 n	nsec	
Period	7 n	nsec	

#### 3.4 その他の機能

#### 3.4.1 Reset 機能

"Reset"ボタンをクリックすることで、基本アプリケーション条件でのシミュレーションが実行され、ツール起動時の状態に戻すことができます。



#### 3.4.2 マルチ出力機種

マルチ出力機種については"Channel"ボタンをクリックすることで、出力の切り替えが可能です。Channel 切り替え毎に 基本アプリケーション条件のシミュレーション結果が表示されます。電源仕様、外付け定数の設定などは Channel 切り 替え毎に保持されませんのでご注意ください。



## 4.トラブルシューティング

ROHM DC/DC Designer 動作時にエラーが起こると、エラー画面が表示されます。 "Confirmation"ボタンをクリックすると、エラー画面を閉じることができます。



### ■エラーリスト

種別	メッセージ	エラー内容 / 解決方法
ERROR	The channel for the simulation doesn't remain.	ROHM DC/DC Designer のアクセス数が上限を超えています。しばら
		く時間を置いてから、再度アクセスしてください。
	Session close.	一定時間、画面操作がされていない状態です。ブラウザ再読み込み、
ERROR	(Timeout happened between server PC.)	もしくは再度アクセスしてください。
	"Load Transient"/"Loop Response" simulation wasn't	過渡特性解析、AC 特性解析にてエラーが出ています。
ERROR	carried out.	設定値を見直してください。
Warning	Setting has been changed. Please run the simulation.	設定値を変更後、"Simulate"を実行せずに"Download Design"を実行
		した場合に表示されます。
		シミュレーションを実行してください。

### 5.免責事項について

ROHM DC/DC Designer をご使用になる前に、必ず免責事項をご確認ください。 免責事項については下記 URL より、ご覧いただくことができます。

"http://rohmfs.rohm.com/jp/products/databook/disclimer/ic/tech info/disclaimer for lsiwebtool-j.pdf"

### 6.補足事項

■プロキシ環境でインターネットをご利用している場合 お使いのウェブブラウザで HTTP1.1 の設定を使用可能にして下さい。 Windows Internet Explorer の場合、メニューバーのツール、インターネットオプションの詳細設定タブより、 HTTP1.1 設定を全て使用可能にしてください。

# 7.改定履歴

日付	Revision	変更内容
2016.02.29	001	新規登録